

教育委員会の権限に属する事務の管理 及び執行の状況の点検及び評価報告書

(花巻市教育振興基本計画平成29年度主要事業実施状況報告書)

平成30年8月
花巻市教育委員会

【 目 次 】

I	平成29年度主要事業の実施状況について	1
II	主要事業（施策別）	
1	子育て環境の充実	
(1)	子育て支援の充実	2
(2)	家庭教育力の向上	3
(3)	就学前教育の充実	3
2	学校教育の充実	
(1)	学力の向上	5
(2)	体力の向上	6
(3)	豊かな人間性の育成	6
(4)	個に応じた支援体制の充実	6
(5)	学校保健の充実	7
(6)	教育環境の充実	7
3	芸術文化の振興	
(1)	芸術文化活動の推進	10
(2)	民俗芸能の伝承	10
(3)	文化財の保護と活用	10
III	資料	
	施設利用状況等について	12

平成 29 年度主要事業の実施状況について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条各項の規定により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされており、また、点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

このことから、花巻市教育振興基本計画の主要事業（教育委員会の権限に属する事業）について、花巻市教育振興審議会において事業の成果と進捗状況等の評価を行い、国等の教育施策をはじめ本市教育を取り巻く地域社会・環境の変化等を見極めながら、事務事業の見直し及び新規施策の事業化により次年度以降の取り組みに反映させるよう努めるものとします。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 26 年 6 月 20 日一部改正）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 子育て環境の充実

【基本方針】「子育てに喜びを感じ、安心して健やかな成長を育むまち」

【子育て支援の充実】

子育て家庭を支援するため、親子が気軽に集い遊べる「ひろば」の開設やミニ講座を実施し、親のリフレッシュや学びの機会を提供した。また、地域子育て支援情報ネットワーク交流会を開催し、支援団体等と研修や情報交換を通して、昨今の子育ての状況を共有することができた。

多子世帯の経済的負担を軽減するため、小学生以下を第1子とする第3子以降の保育料負担軽減事業を実施した。

児童の健全育成のため、放課後や長期休暇中の居場所づくりとして、学童クラブ運営について支援した。

【保育・教育環境の充実】

子育て家庭を支援するため、地域子育て支援センターを開所し、子育ての相談や保護者の交流、子育て支援団体間の情報交換会などを実施し、地域における子育て支援に努めた。また、新たに病後児保育室を開設し、安心して子育てできる環境整備に努めた。

【家庭の教育力の向上】

就学前教育振興会議を開催し、関係者から意見・提言をいただくとともに、子育て講演会を開催し家庭で取り組める食育について「ニコニコガイド」を発行し情報提供した。また、基本的な生活習慣を身に付けるため「家族でニコニコチャレンジ」に継続して取り組むとともに、保護者が園で保育士体験を行う「ニコニコせんせい体験」を実施して家庭の教育力の向上の支援に努めた。

【就学前保育・教育の充実】

本市の目指す子どもの姿「元気な子ども」「やさしい子ども」「考える子ども」を育成するため、就学前教育推進計画に基づき「はなまき保幼一体研修」を実施し、職員の資質向上に努めた。また、「花巻市アプローチカリキュラム」と「花巻市スタートカリキュラム」の周知・実践により保幼小連携を図るとともに、小規模園同士で「ニコニコ交流事業」を実施し、年長児への集団指導を通じて小学校へのスムーズな接続に努めた。さらに、老朽化したこども発達相談センターを改築し、発達に課題の見られる子どもの受け入れ環境の整備を行った。

(1) 子育て支援の充実

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	地域子育て支援センター事業	地域子育て支援拠点として、就学前の子育て家庭に広場を開設し、親子の相互の交流や子育て相談、子育てに関する講座や情報提供を行う。 市内6か所設置 直営3か所(こどもセンター、宮野目保育園内、大迫保育園内) 委託3か所(若葉保育園内、石鳥谷保育園内、土沢保育園内)	43,802	43,195	こども課
2	子育て支援情報ネットワーク事業	地域子育て支援拠点である「こどもセンター」において、地域の子育て支援活動団体、子育て支援関係者等との情報交換や地域子育て支援センター事業と連携し、研修の開催及び応援型地域子育て支援事業等の地域支援を行う。	30	20	こども課
3	放課後子供教室・学童クラブ	児童の健全育成を図るため、児童の放課後をはじめとした安全安心な居場所づくりと地域との交流を促進する。	234,706	212,554	こども課
4	第3子以降保育料等負担軽減事業	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、保育料負担を軽減する。	35,840	35,816	こども課
5	病後児保育事業(新)	傷病の回復期にある児童で保護者の都合により家庭で保育困難な児童を一時的に保育する。	12,228	8,596	こども課

(2) 家庭教育力の向上

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	家庭教育力向上事業 (保護者への意識啓発)	教育の原点である家庭の教育力向上のため、市内保育園・幼稚園・認定こども園・小学校、保護者、行政の代表者による就学前教育振興会議で課題を共有しながら、情報提供等を行う。 ○就学前教育振興会議開催 ○家庭の教育力を高めるための情報提供 ○家族でニコニコチャレンジ実施 ○ニコニコ先生体験の実施(保護者の保育士体験)	472	454	こども課
2	家庭教育力向上事業 (保幼小の連続性を考慮した保育・教育の推進)	保育園・幼稚園・認定こども園から小学校へと繋がる子どもの発達や学びの連続性を考慮し、人と関わる力や、道徳心、豊かな感性を培う保育・教育が展開されるよう研修会等を開催する。	180	163	こども課

(3) 就学前教育の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	はなまき保幼一体研修事業	市内保育園、幼稚園、認定こども園の職員が連携して子どもの発達や学びの連続性を考慮した保育・教育のあり方についての合同研修を実施する。 ○公開保育研修の開催 ○市内保育園・幼稚園等園内研究発表会 ○市内保育園・幼稚園等職員研修 ○保幼小連携研修	372	60	こども課
2	幼稚園教育環境充実事業	快適な教育環境を維持するため、公立幼稚園の施設について計画的に改修及び補修を行う。また、私学の運営補助及び保護者の経済的負担を軽減し、市内の幼児教育の充実を図る。 ○私立幼稚園就園奨励事業 ○私立幼稚園運営費、預かり保育事業費一部補助 6園 ○幼稚園維持修繕 床改修1園、遊具改良1園	91,673	88,620	こども課
3	保育所保育環境充実事業	快適な保育環境を維持するため、公立保育園の施設について計画的に改修及び補修を行う。 ・環境整備 駐車場整備、畑移設 ・安全整備 屋外遊具補修 6園 ・備品購入 食器消毒保管庫・暖房機・冷房機 ・小規模保育園施設整備 はなまきポラン保育園	41,423	40,965	こども課
4	幼児ことばの教室事業	就学前のことばの発達に遅れ等の見られる幼児の早期発見及び指導により、幼児期から小学校入学後にわたる一貫した言語指導を行う。 ○幼児ことばの教室の運営 ・ことばの検査・対象幼児及び保護者への指導 ・保護者からの相談への対応 ・幼児ことばの教室の周知	7,335	7,243	こども課
5	こども発達相談センター整備事業	老朽化が進んでいるこども発達相談センターの新築整備を行う。 ○改築工事	108,314	96,390	こども課

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
6	公立保育園再編事業	地域ごとの保育需要の偏在や多様な保育ニーズに対応するとともに、市の人材や財源を適切に配置して質の高い保育を継続的に提供するため、公立保育園の再編を推進する。	0	0	こども課
7	幼稚園教育指導充実事業	平成30年度の幼稚園教育要領改訂を見据え、改訂のポイントについて理解を深め、教育課程の見直しを行う。花巻幼稚園が教育研究課程指定校の指定を受けてH29～H30年度の2か年実施する。	301	287	こども課

【成果指標】・・・まちづくり市民アンケート(現状値＝平成27年度結果)

	現状値	30年度 (実績値)	32年度 (計画目標値)
子育てしやすいまちと感じる市民の割合	55.7%	58.3%	63.0%

1.子育て環境の充実についての評価

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、待機児童の解消を最大の目標とし、民間保育施設整備への補助や保育士資格を有する方の再就職支援、子育て支援員研修などを実施したが、結果として平成28年度に26人であった待機児童が、平成29年度には96人に増加した。これは、国が短時間就労の場合も保育所入所を認める要件の拡充を行ったことが原因と考えられる。このことは、前述した取り組みが、待機児童の増加の抑制につながったものと判断することが可能であり、今後も保育士確保策の推進や保育施設の整備を行っていく必要がある。

また、保護者が抱える育児に関する様々な不安を解消するため、病後児保育室の設置や老朽化したこども発達相談センターの改築のほか、地域子育て支援センターでの育児相談や子育て支援情報ネットワーク研修会の開催等に取り組んだ。このうち、病後児保育室については延べ75人(7月～3月)の利用があり、保護者のニーズに対応した取り組みであったと考える。

さらに、市の独自施策として、第3子以降保育料等負担軽減事業を実施し、277人に対し補助を行うことで、多子世帯の経済的な負担軽減を図るなど、子育て環境の充実に向けた様々な事業を実施したことが、成果指標の向上につながったものと思われる。

2. 学校教育の充実

【基本方針】「子どもたちが、夢と希望を持ち、たくましく、いきいきと育つまち」

【児童生徒の学力・体力向上】

「花巻市学力向上アクションプラン」に基づき、学力向上推進事業を実施するため、学力向上支援員を配置し、学力調査等の結果分析に基づき各校の学力向上の取り組みを支援したほか、外部講師招へいによる教職員の「授業力」の向上や、「はなまき授業サポーター」及び「中学サポーター」の配置により児童生徒へのきめ細やかな指導を行い、一人ひとりの実態に応じた指導の充実を図った。また、「アクションシート」の活用により、中学校2年生の国語及び数学の学力向上に努めた。

体力の向上のため、体力向上実践推進事業を実施し、実践校における基礎体力向上への取組の支援を通じて、児童の運動への意識の向上を図った。

【豊かな人間性の育成】

児童生徒の豊かな人間性・社会性を育むため、地域体験型学習事業により体験活動や地域学習活動を実施したほか、復興教育学校支援事業により学校における復興教育への取組を支援し、復興・発展を支える児童生徒の育成を推進した。また、「花巻市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、「花巻市いじめ防止等のための基本的な方針」の見直しを図ったほか、学校でいじめが起きた時に迅速かつ適切な対応がなされるよう、「花巻市いじめ問題対応マニュアル」を作成した。

【特別支援体制の充実】

学校不適応児童生徒の解消のため、生徒支援員や教育相談員を配置し、教育相談や適応指導を行うとともに、特別な指導・支援を要する児童生徒へのきめ細やかな指導のため、ふれあい共有推進員を配置し、児童生徒が豊かな学校生活を送ることができるよう、子どもの心に寄り添った生徒指導の推進に努めた。

(1) 学力の向上

(単位：千円)

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	学力向上推進事業	児童生徒の学力向上のため、きめ細やかな指導充実と教員の資質向上を行う。 ○学力向上支援員配置 教育委員会に1人。各校の学力向上の取り組みを支援 ○はなまき授業サポーター配置 30人を超える学級を有する小学校6校に8人 ○中学サポーター配置 30人を超える学級を有する中学校4校に4人 ○授業力向上支援 外部講師による模範授業・講義の実施 小学校(算数)中学校(数学) ○学習定着ワーク 中学2年生にアクションシート(国語・数学)を配布し、学校における補充指導支援 ○到達度学力検査 小学3,4年生及び中学1年生に実施	16,814	15,966	学校教育課
2	まなび交流学習事業	児童の発達段階に応じた学びの場の提供のため、複式学級に在籍する児童に対し、実技教科の適切な集団指導体験を行う。 ○小規模校と中規模校間で音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援 ・笹間第一小学校と笹間第二小学校 4回 ・大迫小学校と内川目小学校、亀ヶ森小学校4回	311	224	学校教育課
3	指導運営事業	教育研究所を設置し、学校教育上の課題解決や教職員の資質向上等に関する専門的・技術的事項の調査研究や研究・研修を推進し、本市の教育水準の向上を図る。	8,615	8,295	学校教育課
4	教科用図書採択事業	4年に一度行われる教科用図書の採択に伴う事務費等に係る負担金の支出や、教師用教科書及び指導書を購入・配布することにより、円滑な教科用図書の更新を行う。中学校11校	40	40	学校教育課

(2) 体力の向上

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	体力向上実践推進事業	児童生徒の基礎体力の向上のため、実践校を指定し取組みを支援する。	330	243	学校教育課
2	小中学校スポーツ振興事業	児童生徒のスポーツ活動の振興・発展のための事業を支援する。	3,950	3,950	学校教育課

(3) 豊かな人間性の育成

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	児童・生徒表彰事業	知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成のため、体育・文化等の活動において、顕著な成果を収めた児童生徒を表彰する。 ・児童生徒栄誉賞 210人と21団体	962	525	学校教育課
2	生徒会ボランティア活動支援事業	市内中学生の社会参画意識を育成するため、生徒会によるボランティア活動を支援する。 (学校、公民館等の清掃活動、福祉施設等との交流活動等)	220	220	学校教育課
3	復興教育学校支援事業	東日本大震災からの復興・発展を支える児童生徒を育成するため、復興教育実践校に支援を行う。 ・実践校 小学校3校、中学校9校	641	637	学校教育課
4	地域体験型学習事業	総合的な学習の時間等を活用して、体験学習、問題解決学習、勤労体験学習、伝統活動学習など、地域社会や児童の特性を生かした体験的学習活動により、児童・生徒の自ら学び、考える力を育み、「生きる力」を育成する。 ・小学校 農作物栽培体験、環境学習、伝承芸能の体験と学習、動植物自然観察、郷土の歴史研究 ・中学校 職場体験、ボランティア体験、伝承芸能、ワイン造り体験等	6,520	5,896	学校教育課
5	国際化教育推進事業 (小学生国際理解推進事業)	小学5・6年生の年間35単位の外国語必修化に対応するため、5・6年生の各学級で年間18時間、英語を母国語とする外国人による英語指導を行う。	8,765	8,425	学校教育課
6	国際化教育推進事業 (中学生国際化教育推進事業)	覚の育成のため、外国人講師を活用した異文化に触れる授業を行う(1クラス当たり年12時間)とともに、各学校で実施する英語検定の受験手数料の全額(年1回分)を助成する。	18,885	17,269	学校教育課

(4) 個に応じた支援体制の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	特別支援事業	特別な支援を必要とする児童生徒に対する生活・学習支援や、不登校・不登校傾向にある児童生徒への登校支援を行う。 ・ふれあい共育推進員の配置 小学校19校・中学校10校へ45名 ・障がいのある児童生徒への教育支援体制推進 ・学校適応支援 教育相談員5名、生徒支援員7名配置 ・ことばの教室巡回指導の実施	64,735	62,757	学校教育課

(5) 学校保健の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	学校保健事業	児童生徒の体力向上のため、身体の健全な育成を図る。 ・学校保健管理 学校医等の確保、検診の実施 ・花巻市学校保健会へ補助金交付	64,703	63,295	学務管理課

(6) 教育環境の充実

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	小中学校学区再編成等調査事業	児童生徒の減少等、現状を把握していただくため、資料「児童生徒数の推移と今後の見通し」を市議会議員、小中学校長及びPTA会長に提供して将来的な教育環境のあり方について市民とともに考える機運を醸成した。 また、有識者による「保育教育環境検討会議」及び市民ワークショップ「未来創造知恵出し会議」を開催し、望ましい教育環境について議論を深めた。	472	340	教育企画課
2	私立高校振興事業	私立高校の経営健全化及び教育環境整備充実のため、補助を行った。	3,240	3,240	教育企画課
3	県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助金	大迫高校の存続に取り組む団体(同窓会・PTA・地域住民・各種団体で構成)を財政面で支援するとともに、大迫総合支所と連携し団体の活動をサポートした。	1,081	850	教育企画課
4	小学校施設維持事業	良好な学習環境と安全・安心な学校運営のため、施設の維持管理・長寿命化を図る。 ・通常施設修繕・敷地内樹木の病害虫防除等・補修資材調達・施設大規模改造(エアコン設置、プール改修、放送設備、屋根、空調設備、キュービクル改修、プラントホーム設置) ・非構造部材耐震化(屋内運動場の照明、窓サッシ落下防止4校) ・施設長寿命化計画策定に伴う調査業務	241,720 (うちH28 繰越 61,075)	231,790 (うちH28 繰越 60,161)	教育企画課
5	中学校施設維持事業	良好な学習環境と安全・安心な学校運営のため、施設の維持管理・長寿命化を図る。 ・施設修繕・敷地内樹木の病害虫防除等・補修資材調達・施設大規模改造(法面改修、防球ネット設置) (プール・校内放送設備等改修) ・非構造部材耐震化(屋内運動場の照明、窓サッシ落下防止 2校)	79,762 (うちH28 繰越 45,157)	71,596 (うちH28 繰越 39,623)	教育企画課
6	湯口中学校校舎改築事業	老朽化した湯口中学校校舎の安全確保のため、学校の適正規模を見通した上で、改築整備した。 ・工事補助監理委託 ・屋内運動場・柔剣道場の改築工事 ・学校備品の購入 ・屋外環境整備工事ほか	543,868 (うちH28 繰越 364,405)	538,761 (うちH28 繰越 363,221)	教育企画課
7	大迫中学校校舎改築事業	老朽化した大迫中学校校舎の安全確保のため、学校の適正規模を見通した上で、改築整備した。 ・工事補助監理 ・通学路整備実施設計 ・校舎改築工事 ・既存校舎解体工事 ・屋内運動場改築工事 ・既存屋内運動場解体工事	795,968 (うちH28 繰越 295,227)	779,280 (うちH28 繰越 284,669)	教育企画課

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
8	学校安全確保事業	児童生徒の登下校中の安全確保のため、学校安全体制に関わる組織を構築し、より効果的な安全指導や見守り活動を展開する。 ・小中学校への巡回の指導 206回 ・スクールガード養成講習会実施 6回	480	480	学校教育課
9	育英事業	向学心旺盛な優秀な学生で、経済的理由により就学が困難な学生に対して学資の貸与を行う。	1,688	1,502	学務管理課
10	学校給食施設基本方針策定事業	花巻市の学校給食施設をはじめとした学校給食の現状と課題を整理し、今後の学校給食のあり方について基本方針を策定に向け、情報収集を行った。	63	0	学務管理課 学校給食管理室
11	学校給食センター整備事業 (仮称)大迫学校給食センター整備事業	大迫中学校の改築に合わせ、(仮称)大迫学校給食センターの建設を開始した。 ・設計業務委託・工事請負費・補償費	242,305	227,708 (うちH28 繰越 207,653)	学務管理課 学校給食管理室
12	奨学金活用人材確保支援事業	市奨学金の返還者に対して返還金の半額を補助することにより、人材の確保を行う。 ・市内保育園で勤務する保育士に返還金の半額補助 ・市内大学を卒業後に市内に居住している者に返還金の半額補助	719	322	学務管理課
13	学校地域連携推進事業	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てるため、家庭・地域との連携による学校経営を推進する。 ・運営委員会の設置 ・2つの中学校区に地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学校支援活動を実施	2,812	2,812	学校教育課
14	小中連携推進事業(新)	中間ギャップの解消と9年間を見越した学力向上を図るために、小学校と中学校との連携による小中連携教育を推進する。	113	62	学校教育課
15	学校図書館支援事業(新)	学校図書館の充実を図るため、市内各学校における学校図書館の取り組みを支援する学校図書館支援員を配置する。	2,600	2,455	学校教育課

【成果指標】・・・岩手県学習定着度状況調査（現状値＝平成26年度）

		現状値	29年度 (実績値)	32年度 (計画目標値)
将来の夢や就きたい仕事など具体的な目標もっている児童生徒の割合	(小)	85%	88%	85%
	(中)	69%	76%	75%
運動やスポーツが好きな児童生徒の割合	(小)	84%	94%	85%
	(中)	82%	86%	85%
自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	(小)	78%	79%	80%
	(中)	66%	76%	70%
児童生徒の学力の定着状況 (県平均＝100)	(小)	105	101	105
	(中)	99	100	105

2.学校教育の充実についての評価

学力向上については、平成29年度岩手県学習定着度状況調査の結果によると、小学校では算数が前年度より2%上昇し、県平均と比較しても2%上回った。社会、理科も県平均を上回っており、国語を除いてはおおむね好ましい状況。中学校は、国語、社会、理科が県平均を上回り、英語が同等、数学が1%下回った。特に数学は前年度から3%下落しており、課題が残る。

中学校外国語教育推進事業については、平成29年度から英語検定の検定料の助成を開始したところ、英検受験者数と3級所持者数の割合が前年度の約2倍となり、生徒の語学力向上につながった。

体力向上については、平成28年度に引き続き取り組んだ体力向上実践推進事業により、1年目は短距離走のタイムや泳法の技術が向上したが、2年目は敏捷性や柔軟性に伸びが見られたほか、体育の授業以外の業間や昼休みにも体を動かす児童が増加した。学習定着度状況調査によると運動やスポーツが好きな児童生徒の割合は増加傾向であることから、基礎体力の向上を目指し、今後も体力・運動能力に課題を抱える児童が多い学校に重点的に取り組んでいく。

学校における地域体験型学習やキャリア教育の実践は、住んでいる地域をより深く知る体験を重ねるとともに、自己の将来を考え、職業観を醸成することで、児童生徒の自己肯定感、自己有用感が高まった。

5. 芸術文化の振興

【基本方針】「市民が、地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しむまち」

【文化財の保護と活用】

市内にある文化財を保護するため、市指定文化財として「猫塚家文書諸御用日記33冊」の指定を行うとともに、遺跡情報の周知や開発等の事業に伴う発掘調査等を実施した。

また、文化財に関する理解を深め、継承する意識が高められるよう、文化財を活用したセミナーや講演会の開催、説明板や遺跡標柱の設置等を行った。

博物館においては、著名な発明家を取り上げつつ、花巻の発明品を展示して地域の歴史遺産を紹介し、市民が歴史や文化財に親しみ、理解を深めることに寄与した。また、共同企画展において、南部杜氏の活動や歴史、酒造りにまつわる信仰や習俗など酒造文化の紹介に努めた。話題性のある体験学習や出前講座を開催し、多くの市民が花巻の歴史や文化への知識を深めることあわせ、地域におけるその担い手となるよう学習内容の充実と機会の提供に努めた。

【民俗芸能の伝承支援】

早池峰神楽をはじめとする市内各地に古くから伝承されてきた郷土芸能を保存するため、郷土芸能鑑賞会を開催するなど伝承活動や後継者育成の支援に努めた。

(1) 芸術文化活動の推進

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	学校文化活動事業	児童生徒の豊かな情操を養うため、市内小中学校文化活動を支援する。 ・花巻市中学校文化連盟事業への補助 ・市内小中学校文化部等の大会出場経費の一部補助	560	478	学校教育課

(2) 民俗芸能の伝承

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	民俗芸能伝承支援事業	地域の財産である郷土芸能を後世に引き継いでいくため、鑑賞会等を開催し、伝承活動成果の発表の場を提供するとともに、ホームページ等を活用して、民俗文化財の公演・公開に関する情報を提供し、普及啓発と後継者育成を支援する。 ○郷土芸能鑑賞会開催 早池峰岳神楽公演、花巻市郷土芸能鑑賞会、古民家活用郷土芸能鑑賞会、花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2017 ○全国民俗芸能保存振興市町村連盟に加盟	2,339	2,281	文化財課

(4) 文化財の保護と活用

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
1	文化財保護活用事業	文化財を価値あるものとして、後世に伝え保護していくため、文化財の管理・修繕・補助等を行うとともに、市民への周知を図るため、説明板の設置やセミナー等を開催し文化財の活用を図る。 ○文化財の調査と指定、文化財の修復補助 ○文化財セミナー及び早池峰自然観察会開催3回	12,137	11,013	文化財課
2	文化財保護活用事業 (熊谷家改修事業)	有形文化財「熊谷家」を改修し、保存に努めるとともに、郷土芸能鑑賞や地域の活動イベント等に利用し文化財の活用に努める。 ○地盤補強工事(H28繰越)及び屋根葺替え工事	53,683 (うちH28繰越6,929)	52,749 (うちH28繰越6,915)	文化財課

No.	事業名	事業概要	予算額	決算額	担当
3	埋蔵文化財保護活用事業	貴重な歴史遺産である埋蔵文化財を適切に保護するため、遺跡の調査等を行うとともに、花巻城跡の調査を通じてその保存のあり方を検討する。また、遺跡に対する市民の興味関心を高めるため、講演会の開催等埋蔵文化財の活用を図る。 ○埋蔵文化財の保護 花巻城二の丸跡の遺跡内容確認調査 ○埋蔵文化財講演会の実施、総合文化財センターにおける展示公開ほか	31,574	29,025	文化財課
4	展示活動事業	展示会の開催により市民が普段目にすることがない歴史的資料や美術作品を紹介し、郷土の歴史や文化財への興味と関心を高める。 ○テーマ展3回 花巻人形、花巻城ほか ○企画展1回 没後50年 多田等観展 ○共同企画展1回 及川全三と岩手のホームスパン	10,828	9,783	博物館
5	教育普及活動事業	市内小中学校の児童生徒に博物館での学習を通じて、ふるさとの歴史文化への興味と関心を深め郷土を愛する心を養う。 ○教育普及活動 館長講座3回、博物館講座12回、古文書講座6回、体験学習18回、出前講座25回、博物館学校教育連携研究委員会開催3回、広報誌発行12回	2,168	2,027	博物館

【成果指標】・・・まちづくり市民アンケート(現状値＝平成27年度結果)

	現状値	30年度 (実績値)	32年度 (計画目標値)
郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	62.5%	67.3%	65.0%

5.芸術文化の振興についての評価

民俗芸能の伝承については、郷土芸能の保存を図るため、各種郷土芸能鑑賞会を開催しており、公演事業の入場者数は平成28年度1,280人に対し29年度は1,880人と増加傾向にある。特に古民家活用郷土芸能鑑賞会は、熊谷家の屋根葺替え工事後のお披露目を兼ねて開催したこともあり例年より多い来場者であった。事業実施により伝承活動が確保されるとともに、観光イベントを創出し、地域振興にも成果があった。

文化財の保護と活用については、文化財セミナーや自然観察会、埋蔵文化財講演会等を実施し、埋蔵文化財関係講座等受講者数は、平成28年度2,315人に対して29年度は2,151人であった。微減ではあるものの、指標の目標値(1,500人)を大幅に上回っており、市民の文化財に対する関心の高さが窺われた。

今後も文化財愛護意識の高揚を図るため、各種の鑑賞会や講座等を開催することとしている。

博物館の入館者数については、平成28年度と比較して5,000人超減少した。これは、平成28年度の「発明王エジソン展」のような特別展を実施しなかったことによる影響と考えられる。

各種講座やセミナーについては、調査研究テーマをわかりやすく説明したことや、外部講師を招いたものに好評を得ており、参加者も年々増加傾向にある。

博物館資料を活用した学習メニューの充実を図った結果、市内各小中学校での出前授業や見学学習を行う学校が増えた。これは、学芸員が各校の担当教諭と連携を密に図りながら、共通で学べるものに加え、それぞれの学校の地域特性を盛り込んだ内容としたことで興味や関心を高めたことが要因とされている。

今後については、常設展の展示内容をリニューアルするとともに、特色ある企画展の開催、博学連携の取り組みの強化によりさらなる魅力アップに努め、郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合を高めていきたい。

学校開放事業

(単位：回、人)

学校名	平成28年度		平成29年度		比較増減		
	開放回数	利用者数	開放回数	利用者数	開放回数	利用者数	
小学校	花巻小学校	754	20,206	1,338	22,868	584	2,662
	若葉小学校	562	23,741	527	21,524	△ 35	△ 2,217
	桜台小学校	328	12,329	338	11,021	10	△ 1,308
	南城小学校	581	11,531	549	11,170	△ 32	△ 361
	湯口小学校	430	12,405	443	13,633	13	1,228
	湯本小学校	472	12,391	404	10,746	△ 68	△ 1,645
	矢沢小学校	236	8,476	294	7,485	58	△ 991
	宮野目小学校	251	10,877	258	10,010	7	△ 867
	太田小学校	200	3,193	204	2,491	4	△ 702
	笹間第一小学校	273	5,944	287	7,593	14	1,649
	笹間第二小学校	48	981	39	513	△ 9	△ 468
	大迫小学校	220	2,244	301	3,789	81	1,545
	内川目小学校	0	0	0	0	0	0
	亀ヶ森小学校	17	1,212	4	565	△ 13	△ 647
	石鳥谷小学校	335	11,008	354	11,114	19	106
	新堀小学校	445	10,677	490	12,504	45	1,827
	八幡小学校	207	2,406	186	3,685	△ 21	1,279
	八重畑小学校	215	6,391	253	7,348	38	957
	東和小学校	602	13,223	556	15,048	△ 46	1,825
	小計	6,176	169,235	6,825	173,107	649	3,872
中学校	花巻中学校	580	15,892	362	9,574	△ 218	△ 6,318
	花巻北中学校	333	5,635	357	5,955	24	320
	南城中学校	227	3,169	261	4,921	34	1,752
	湯口中学校	155	2,925	318	6,479	163	3,554
	湯本中学校	311	4,586	632	10,567	321	5,981
	矢沢中学校	240	3,794	283	4,969	43	1,175
	宮野目中学校	249	4,193	302	5,326	53	1,133
	西南中学校	1,055	16,677	258	6,640	△ 797	△ 10,037
	大迫中学校	262	3,295	213	2,534	△ 49	△ 761
	石鳥谷中学校	438	10,044	512	11,511	74	1,467
	東和中学校	763	12,410	537	9,334	△ 226	△ 3,076
	小計	4,613	82,620	4,035	77,810	△ 578	△ 4,810
合計	10,789	251,855	10,860	250,917	71	△ 938	

施設利用状況等について

1 花巻市総合文化財センター利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳			
			有料入館者			免除者
			小中高生	一 般	計	
28年度	359	5,040	79	1,273	1,352	3,688
29年度	358	3,263	130	1,671	1,801	1,462
増 減		△ 1,777	51	398	449	△ 2,226

2 大迫郷土文化保存伝習館利用状況 (開館期間：5月1日～10月31日) (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳	
			小中高生	大学生・一般
28年度	157	717	59	658
29年度	157	892	107	785
増 減		175	48	127

3 石鳥谷農業伝承館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳		
			小中学生	高校・大学生	一般
28年度	361	1,631	151	21	1,459
29年度	361	1,395	141	39	1,215
増 減		△ 236	△ 10	18	△ 244

4 花巻市博物館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳				免除者
			有料入館者			計	
			小学生 中学生	高校生 学 生	一 般		
28年度	358	19,192	2,117	453	12,125	14,695	4,497
29年度	360	13,950	573	374	9,394	10,341	3,609
増 減		△ 5,242	△ 1,544	△ 79	△ 2,731	△ 4,354	△ 888

5 石鳥谷歴史民俗資料館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳				免除者
			有料入館者			計	
			小学生 中学生	高校生 学 生	一 般		
28年度	359	1,428	62	14	1,130	1,206	222
29年度	361	1,261	25	56	976	1,057	204
増 減		△ 167	△ 37	42	△ 154	△ 149	△ 18

6 東和ふるさと歴史資料館利用状況 (単位：人)

年 度	開館日数	入館者数	内 訳			免除者
			有料入館者		計	
			小中高生	学生・一般		
25年度	304	1,506	12	607	619	887
26年度	308	759	9	426	435	324
増 減	4	△ 747	△ 3	△ 181	△ 184	△ 563

(平成27年4月1日から当分の間休館)